

報 廣 しばた

2009

SEP

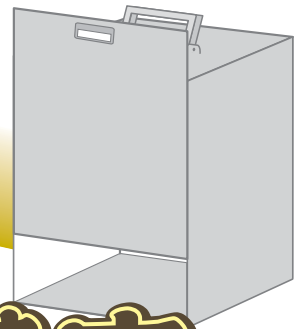
9

since 1961 No. 575



熱気と興奮に包まれた夏まつり 「ザ・フェスティバル in しばた」

まちづくり出前講座



へいおち

講座の出前承ります

まちづくり出前講座



これまで
8,139人の
皆さんが受講

町では、職員が地域の会合や集会に伺い、町の取り組みや暮らしに役立つ情報などを説明する「まちづくり出前講座」を行っています。

この「まちづくり出前講座」は、おかげさまでご好評をいただき、平成20年度はごみ問題や高齢者の健康など、計68講座、2,549人の皆さんが受講し、平成17年度のスタートから平成20年度末までの合計は136講座、延べ8,139人の皆さんに受講していただきました。

注文ランキング

平成20年度の注文ランキングは、表1のとおりです。

もっとも注文件数が多かったのは「ごみ処理施設見学会」で、私たちの家庭から出たごみが、どのように処理され資源化されるのかを実際に大河原衛生センターや仙南リサイクルセンターを見学しました。ごみの減量、資源化などの環境問題を解決するためには、皆さんの協力が必要です。現在、町内のスーパードでは、

レジ袋の有償提供が始まっています。環境にやさしい暮らしを目指してマイバック持参にご協力ください。

「高齢者向け健康のお話」「高齢者の食事について考える」など高齢者向けの講座も多くの皆さんが受講しました。保健師が話だけではなく、簡単に楽しい運動を行うのが人気の秘訣です。また、「介護予防教室」「メタボリックシンドローム」「高齢者の食事」など健康づくりについて関心を持っている町民の皆さんが多いことが分かりました。

平成20年度まちづくり出前講座 注文ランキング

(表1)

順位	講座名	担当課	回数	人数
1	ごみ処理施設見学会	町民環境課	8	203
2	町政について	町長(総務課)	7	229
2	認知症サポーター養成講座	健康福祉課	7	226
4	災害に強い地域づくり	総務課	6	301
4	高齢者向け健康のお話②	健康福祉課	6	178
6	高齢者向け健康のお話①	健康福祉課	5	171
6	柴田町のごみ分別の仕方とごみ減量・資源化について	町民環境課	5	166
8	はじめましょう 介護予防教室	健康福祉課	4	322
8	私たちの国民健康保険 後期高齢者医療制度	町民環境課	4	212
10	メタボリックシンドロームについて	健康福祉課	3	90
10	高齢者の食事について考える	健康福祉課	3	90
10	交通安全教室 交通事故にあわないために	まちづくり推進課	3	75

注文方法

注文できる方

町内に在住、在勤または在学する10人以上の方で構成された団体、グループです。

メニューとお届けする人

メニュー表(6・7ページ)からお選びください。お届けするのは担当課の職員になります。メニュー以外の項目についてもお気軽にご相談ください。

出前時間とお届け場所

お届けするのは、午前9時から午後9時までの2時間以内です(年末年始、祝日は除きます)。会場は注文する人が用意してください。ただし、町内に限ります。

料 金

無料です。ただし、講座内容により材料費などについて実費を負担していただく場合があります。会場借用にかかる費用は、利用者で負担していただきます。

注文方法

開催希望日の2週間前までに注文書(申込書)でまちづくり推進課へ注文(提出)してください。

注文にあたって

この講座は、町が担当する業務の内容や専門知識を担当職員が「学習講座」としてお届けし、町政への関心や理解をいただき、まちづくりを共に考える場です。

個人的な陳情や苦情、相談などをお聞きする場ではありませんので、ご了承ください。政治、宗教、または営利を目的とした催しなどと併せて行なう場合や、講座の主旨に反すると認められる場合は、お断りさせていただくこともあります。



出前講座を受講して

まちづくり出前講座を受講した団体の代表者からいただいた感想や今後の出前講座の要望などの一部を紹介します。

※かつこ内は講座名



● 食事の摂取量・栄養のバランスなど、いかに高齢者になって大切かが再認識できた。

● 日々の食事のことながら、食事の注意点の話は一つも聞き漏らすまいと真剣に聞いていました。

(高齢者の食事について考える)

● 最後に軽い体操を取り入れていただき、参加者全員大変喜んでおりました。

● 講座終了後も個人で質問していろいろとご指導いただいた方は大変喜んでおりました。

● 水分、食事、運動と分かりやすい話でみんな真剣に聞きました。最後の体操楽しくやって大変良かったと思います。

(高齢者向けの健康のお話)

● 災害に対する普段からの備えがいかに重要か再認識するとともに実践していきたいと思えます。

(災害に強い地域づくり)

● ごみ分別の大切さを知り、正しい分別の仕方を再認識しました。

● 衛生センターの活動、リサイクルセンターの職員の大変さがよく理解できたのでごみ出しの工夫をしたい。

● まだまだ私たちがしなくてはならないことがあると思えました。

● 各施設でもパンフレットが用意されており家に帰ってからも見られたし、身近なごみ処理ひとつの重要性が感じられ身の引き締まる思いでした。

(ごみ処理施設見学会)

● クイズ形式をとりながら、

身近な話題から国際的な話までとても幅の広い話で聞き逃せないものばかり。とても良い講座でした。

(町政について)

● 休憩時間帯での体操と握力計による測定で気分転換を図り楽しい講座でした。

(認知症サポーター養成講座)

● 自分の身内の話などしてくれたので、身近に感じられ話を聞くことができました。

(介護保険と介護予防事業)

● 集積所に出すのは、「ごみ」ではなく「資源」として回収するものを適切に説明してくれた。

● 分別の分からないものは相談してほしいという説明が参加者を力づけた。

(柴田町のごみ分別の仕方)

とごみ減量・資源化について

● 実際に血圧を測ったり、お腹周りを測ったりして自分の体がメタボかどうかの参考になった。

(メタボリックシンドロームについて)

● 講義内容とビデオの時間配分が良く、また配布資料の内容が分かりやすく非常に良かった。

(交通安全教室交通事故にあわないために)

町では、協働のまちづくりを進めています。町民の皆さんと職員が対話をするこの「まちづくり出前講座」はその第一歩です。

今年度も新たなメニューを追加し52のメニュー(講座)を取りそろえ、皆さんの「ご注文」をお待ちしております。

職員から見た「出前講座」

「質疑応答を通じて参加者の不安などがわかった」「聞き取りにくいなどの意見があったので、今後気をつけたい」など講師となった職員の自己研修にも役立っています。



町民環境課 環境衛生班 主査 木村正人



環境衛生の仕事に就いてから、多くの皆さんと出会いたくさんのことを経験しました。中でも「出前講座」は直接住民の皆さんに私どもの仕事をお話しできる重要なものです。「？」を「！」に変えることを目標に講座を開催しています。

健康福祉課 包括支援センター



健康福祉課では、健康づくりや介護予防講座などを行っています。「認知症」や「介護予防」と漢字だらけの言葉を分かりやすく身近なこととして感じていただくように伝えたいと努力しています。どの会場でも、熱心に聞き入っていただき、とても感謝しています。

まちづくり推進課 出前講座担当 主事 小林良人



行政区会、サークル、事業者団体、学校など多様な団体から数多くお申し込みをいただいている出前講座は、町の運営に関する情報から、健康、環境、教育など暮らしに関わる分野まで、幅広いお役立ち情報を満載したメニューを取り揃えております。ご注文お待ちしております！

分野	No	分類	講座名	講座内容	所要時間	担当課等名
産業・建設	26	農林業	森林（もり）のはなし	わたしたちの生活に潤いをもたらす、森林の恵みと大切さを学ぶ講座です。	30分	地域産業振興課
	27	農林業	農業者年金制度について	農業者年金制度の概要について、また農地法との関係について説明します。	60分	農業委員会
	28	農林業	農地制度について	農地の売り買い・貸し借り、また駐車場などに転用するには農地法の手続きが必要です。農地制度について解説します。	60分	農業委員会
	29	建設	道路のおはなし	道路の種類や、町道はどのくらいあるのか、その数や延長、道路整備の現状や基本的な計画についてお話します。	40分	都市建設課
	30	建設	しばたの都市計画	柴田町の都市計画についてその概要をお話します。	40分	都市建設課
	31	上下水道	水道のしくみ	柴田町水道の流れ、水道水が出来るまでなどを説明します。また、家庭での水道設備のトラブル等について説明します。	30分	上下水道課
	32	上下水道	水道施設の概要について	柴田町の水源と施設等の概要を説明します。	20分	上下水道課
	33	上下水道	水道水の水質検査等について	水質検査実施について説明します。	30分	上下水道課
	34	上下水道	下水道のしくみ	下水道のしくみや役割についてお話します。	40分	上下水道課
	教育・文化	35	教育全般	柴田町の教育について	教育について、分かりやすくお話しします。	60分
36		教育	柴田町の教育方針及び重点方針について	毎年柴田町では、時代のニーズに対応するため、学校教育・社会教育に関する年度教育方針及び重点事業を定めております。どのような方針でどのような事業に取り組んでいるのかについて説明します。	60～120分	教育総務課
37		教育	学校教育の現況と課題について	柴田町の第一幼稚園・小中学校において、どのような点に力を入れて児童・生徒の教育に当たっているか及びその課題について説明します。	60～120分	教育総務課
38		教育	児童・生徒の安全対策について	幼稚園・小中学校の児童・生徒の人命に関わる安全対策の強化が求められている今、幼稚園や小中学校のハード面又はソフト面での安全対策の現況及び地域・行政が取り組む安全対策や課題等について説明します。	60分	教育総務課
39		教育	楽しくなる子ども会	地域の子ども会をもっともっと楽しくしてみませんか？子ども会を活性化する取り組みについてお話します。	40分	生涯学習課
40		教育	柴田町子ども読書活動推進計画について	「柴田町子ども読書活動推進計画」についての概要と計画の進捗状況をお話します。	40分	生涯学習課
41		スポーツ	ニュースポーツ体験	様々なニュースポーツを紹介します。実際に体験してニュースポーツの楽しさを知り、日頃の運動不足を解消しましょう。	90～120分	生涯学習課
町の運営	42	文化	サークルをつくろう	仲間同士のサークルを作ってみませんか？サークルの起ち上げをはじめ、町の施設や設備の上手な使い方などについてお話します。	40分	生涯学習課
	43	町政全般	町政について	町政全般にわたり、分かりやすくお話しします。	60分	町長(総務課)
	44	職員	職員給与等について	町職員の職員数や給料、各種手当の内容について説明します。	30分	総務課
	45	行財政	町の財政について	柴田町の財政は、たいへん厳しい状況です。現在の財政状況や健全化に向けた取り組みなどを説明します。	40分	企画財政課
	46	行財政	行財政改革について	柴田町で進めている行財政改革について説明します。基本的な考え方や行政サービスのあり方などについて意見交換をします。	40分	企画財政課
	47	計画・統計	長期総合計画について	柴田町新長期総合計画「新しばた21」の後期基本計画（平成18年度から22年度までの5年間）について説明します。	40分	企画財政課
	48	計画・統計	統計で知る柴田町の姿	柴田町の、「過去、現在、未来」をさまざまな統計指標から解説します。また、統計の手法や生活への役立て方について説明します。	40分	企画財政課
	49	まちづくり	住民自治基本条例って何？	まちづくりを進めやすくするための大切な考え方や約束事、しくみをまとめたものです。町の「憲法」といえるかもしれません。その内容をお話します。	60分	まちづくり推進課
	50	男女共同	男女共同参画って何？	身近なところから男女共同参画とは何かをいっしょに考えてみましょうか。	40分	まちづくり推進課
その他	51	国際交流	国際交流への取り組みについて	町がこれまで進めてきた国際交流について概要を説明します。	40分	企画財政課
議会	52	議会	議会のしくみ	議会のしくみや運営等について説明します。	30分	議会事務局

平成21年度柴田町まちづくり出前講座メニュー表

分野	No	分類	講座名	講座内容	所要時間	担当課等名
く ら し	1	安全・安心	災害に強い地域づくり	いざという時に備えて、地域ぐるみの防災活動について説明します。	30分	総務課
	2	安全・安心	交通安全教室 －交通事故にあわないために	交通安全条例制定の下、正しい道路の横断方法や自転車の乗り方等、交通安全のルールや交通マナーをわかりやすく説明します。	60分	まちづくり推進課
	3	安全・安心	みんなでつくろう！ 安全・安心なまちづくり	安全・安心なまちづくりについて、柴田町の現状と課題について説明します。また、地域での防犯活動の取組みについて意見交換をします。	60分	まちづくり推進課
	4	税	暮らしと税金	課税の仕組み等について説明します。(1月から4月は繁忙期のため休止します)	60分	税務課
	5	選挙	やさしい選挙の話	選挙制度の成り立ちと各種選挙のしくみや制度について説明します。	30分	総務課
	6	環境	柴田町環境基本計画と柴田町の環境について	柴田町環境基本計画と柴田町の大気や水環境の現状についてわかりやすく説明します。	60分	町民環境課
	7	環境	柴田町のごみ分別の仕方とごみ減量・資源化について	柴田町のごみ行政の実態や正しい分別の仕方、ごみをどうしたら減量できるか、資源化する方法などについてお話します。	60分	町民環境課
	8	環境	ごみ処理施設見学会	家庭から出たごみがどのように処理され、資源化されるのか、処理施設を見学します。	内容に応じて	町民環境課
	9	年金	知っておきたい年金制度	国民年金の種類や資格、制度の仕組みについて説明します。	60分	町民環境課
	10	消費生活	消費者トラブルに遭わないために	消費者契約トラブルの事例、解決方法、契約の基礎知識など消費生活の安全・安心に関わる情報を提供します。	40分	町民環境課
健 康 ・ 福 祉	11	保険・医療	私たちの国民健康保険・後期高齢者医療制度	国民健康保険・後期高齢者医療制度の仕組み、給付の内容、保険料(税)について説明します。	60分	町民環境課
	12	健康	歯の健康教室	乳幼児から高齢者まで、むし歯や歯周病予防についてのお話や歯みがきの実習をします。	60分	健康福祉課
	13	健康	乳幼児の心身の発達	乳幼児の心と身体の発達について、お話をします。	60分	健康福祉課
	14	健康	高齢者の心の健康のお話	健康講話「うつと閉じこもり予防」についてと簡単に楽しい運動を行います。(地区担当保健師がお伺いしたいと思いますので1か月前までの申し込みをお願いします)	60分	健康福祉課
	15	健康	高齢者の体の健康のお話	健康講話「肺炎に負けない!!」についてと簡単に楽しい運動を行います。(地区担当保健師がお伺いしたいと思いますので1か月前までの申し込みをお願いします)	60分	健康福祉課
	16	健康	成人の健康のお話	①『血糖・ヘモグロビンA1cを知ろう』または②『メタボリックシンドロームを知ろう』の話と簡単な運動を行います。生活習慣を見直すきっかけづくりの講座です。(対象20～64歳)	60分	健康福祉課
	17	健康	食事を楽しもう	子供から高齢者の栄養について、栄養士と一緒に振り返り、食事を楽しみましょう。(栄養士がお伺いしたいと思いますので1か月前までの申し込みをお願いします)	60分	健康福祉課
	18	介護	介護保険と介護予防事業	介護保険法の改正により、平成18年4月から始まる新規事業と新システムについて説明します。	60分	健康福祉課
	19	介護	はじめましょう 介護予防教室	「元気で長生き」という願いを実現するため、いまの自分の状態を知り、介護予防の取り組み方を学ぶものです。	90分	健康福祉課
	20	介護	認知症サポーター養成講座	認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かく見守る応援者「認知症サポーター」を養成する講座です。	90分	健康福祉課
産 業 ・ 建 設	21	介護	高齢者の現状と課題を知る	高齢化の定義とその現状及び高齢者の様々な課題に対する地域包括支援センターの役割について知る講座です。	90分	健康福祉課
	22	子育て	子育て支援について	児童福祉法に基づき、町が実施している子育てに関連する児童福祉サービス(支援センター事業、保育事業、健全育成事業、各種児童に係る手当等)について説明します。	60分	子ども家庭課
	23	観光	柴田の観光とまつり	町の観光名所とさくらまつりについて紹介します。	30分	地域産業振興課
	24	農林業	米の政策改革大綱	米政策改革の下、消費者・市場重視の考え方に立って、需要に即応した米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展を図るため、需給調整対策などについて説明します。"	30分	地域産業振興課
	25	農林業	農業振興地域整備計画について	町の農地保全に関する計画を説明します。	30分	地域産業振興課

しばたの夏を彩る 「ザ・フェスティバル in しばた」



しばたの夏を代表するイベント「ザ・フェスティバル in しばた」。子どもから大人まで楽しめるイベントとして大変親しまれています。

今年も8月2日に陸上自衛隊船岡駐屯地を会場に行われ、町民の皆さんはもちろん町外からも多くの人たちが訪れました。

フェスティバルは、子どもたちのショーで幕開け。色鮮やかな衣装に身を包んだダンスグループや吹奏楽部などがにぎやかなステージを繰り広げ、大きな拍手を受けました。

よさこい演舞競技や大抽選会、仙台大チアリーディングなどが会場を盛り上げ、14チーム300人が参加した総踊りが幕を開けると、祭りの活気は最高潮に達しました。

クライマックスは約5,000発の大輪の花が夏の夜空を彩り、訪れた人たちの大きな歓声の中、フィナーレを迎えました。







柴田町長 滝口 茂

9月は敬老会のシーズンです。多くの地区の皆さんのお世話で楽しいひとときを過ごさせていただいております。

今回、敬老会に町で招待するのは昭和7年生まれの方々です。戦争と

いう暗い時代に青春時代を過ごされ、戦後の混乱期を生き抜き、さらに高度成長時代をガムシヤラに働いて私たちに物質的な豊かさや便利な社会をもたらしてくださいました。飲まず食わずの生活や働きづくめの生活の中で、つらい悲しい体験を数多くなされたの方々です。

本来、こうした高齢者の方々の御尽力に報いて、平和で安心した老後を過ごしていただけるような社会にするのが私たち現役の責務でありますが、今の世の中不安は増すばかりです。

なぜ、わが国はこんな不安な社会になってしまったのか。それはバブル崩壊後の経済社会政策を市場原理主義、競争主義にゆだねてしまったからにほかなりません。強いものをより強

敬老精神とは

く”富めるものをより富めるようにして”弱いもの貧しいものの底上げを図ろうとする構造改革は拝金主義ばかりをまん延させました。マネーゲームによって引き起こされた100年に一度の経済不況は、一時「勝ち組」ともてはやされたアメリカの証券会社や自動車会社を破たんに追い込みました。

その影響が回り回って、柴田町の一人一人の生活にも深刻な打撃をもたらしております。

この状況を打開するには、拝金主義が必ずしも幸せを生む社会にならないことをまず私たちが悟るべきです。

アメリカの競争主義に毒されることなく、これまでの日本の発展の礎を築いてこられた高齢者の方々の考え方である「もつたいたい」「お互い様」「腹八分目」といった足るを知る経済社会に転換していくことが今求められています。高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らしていける社会をつくってこそ本当の意味での敬老になるのだらうと思います。

平成21年 秋の交通安全運動

「交通ルール 守るあなたが 守られる」

交通ルールを守れば
安全が確保される交通環境づくり

9月21日(月)から30日(水)までの10日間、全国一斉に秋の交通安全運動が実施されます。

柴田町交通安全対策協議会では、広く町民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、町民自身による交通事故防止に向け、交通安全啓発活動を行います。

9月30日は「交通事故死亡ゼロを目指す日」です。交通事故に注意して行動し、死亡事故だけでなく交通事故も無くしましょう。

運動の重点 秋の交通安全運動では、本格的な高齢社会への移行に伴う高齢者の交通事故情勢に的確に対処するため、「高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか、次の重点項目を定めます。

- 1 夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車乗用中の交通事故防止 (全国共通)
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 (全国共通)
- 3 飲酒運転の根絶 (全国共通)
- 4 道路の正しい横断の励行 (宮城県独自)
- 5 交差点における安全確認と追突事故の防止 (柴田地区独自)

問 まちづくり推進課 ☎55-2278

「もったいない」は



あなたが主演

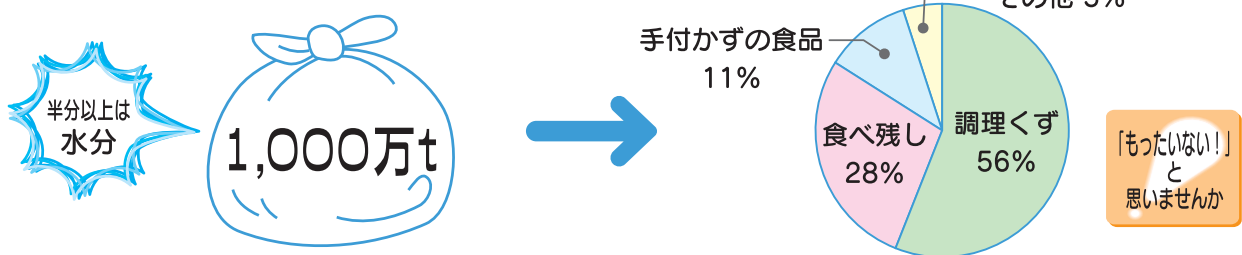
燃えるごみ削減
2

柴田町の家庭から出た燃えるごみの内訳 (重量比)

生ごみは水分を含んでいるので、重量があり、においも気になります。ごみ出しの時も大変です。



全国の家から出た生ごみの量



ごみにするのは簡単ですが、
ちょっと工夫してもっとラクしましょう

<p>野菜の皮むきは濡れないところで。三角コーナーより片付けがラクチン。</p>	<p>濡らさない 1</p>	<p>水を切る 2</p>	<p>濡れたものは“ひと絞り”。天日干しするとさらに効果アリ。</p>
<p>生ごみを減らそう!</p>			
<p>食材は必要な分だけ買い、料理は食べきれ的分作って、いただきます。</p>	<p>腕をふるう 3</p>	<p>ごみにしない 4</p>	<p>たい肥化して、お庭の花たちに。ごみも出ないから一石二鳥。</p>

※生ごみ処理機を購入する方への補助制度がありますのでご利用ください。

<p>告 告</p>	<p>告 告</p>
------------	------------

まちかど NEWS



巨理伊達家第19代当主夫人・伊達君代さんから歴史を学ぶ



27人の若者たちが北の大地で交流

先人の縁で集い交流

NEWS

8月5日から2泊3日の日程で、柴田町と歴史友好都市となつている北海道伊達市、ふるさと姉妹都市の福島県新地町、巨理町、山元町の中学生・高校生が交流を深める「第13回姉妹・友好都市シニアリーダー研修交流会」が伊達市で開催されました。柴田町からは6人の高校生ジュニアリーダーが参加。140年前、北の大地に夢をはせ、海を渡つた先人達の歴史に触れました。

街を自分たちの手できれいに

NEWS

7月26日、船迫中学校アルカス「オゾン」(児童生徒健全育成ボランティア)30人と青少年のための柴田町民会議、警察ボランティア柴田支部の皆さんなどが、国道4号線船迫地下道の落書き消しを行いました。普段利用している中学生は「自分が塗つたところは恥ずかしいけれど、きれいにすることは気持ちがいい」と話していました。生徒たちによる作業は午前中いっぱい行なわれました。



生徒たちの手による巨大な芸術作品

広 告

広 告

作って楽しい、遊んで楽しい

子どもたちに手作りおもちゃの楽しさを伝えようと8月8日、槻木生涯学習センターで「夏休み子ども工作教室」が開かれました。小学生など10人が参加し、竹や家庭にある日用品など、身近な材料を使用して工作に挑戦。笛や風車、竹とんぼといった昔ながらのおもちゃを作りました。会場では、親子や兄弟で協力する姿や、夏休みの宿題にしよう、一生懸命取り組んでいる姿も見られました。



夏の楽しい思い出もつくりました

楽しいお話に目を輝かせ

8月7日、船迫生涯学習センターに講談社「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーがやってきました。楽しい絵本や紙芝居のお話と、たくさんのお話を積んだ真っ赤なキャラバンカーに子どもたちは大喜び。車には約550冊の本が積んであり、子どもたちは好きな絵本を取り出しては読んでみたり、友だちと一緒に見たりして絵本の楽しさを味わいました。



お気に入りの一冊を見つけたようです

子どもたちの“熱い”夏

槻木地区子ども会育成会球技大会が、8月2日に開催され、子どもたちによる熱戦が繰り広げられました。会場の槻木小学校では、高学年がドッジボール、低学年がエンドボールの試合を地区ごとのチームに分かれて行ないました。当日は、太陽の光が照り付ける暑い日となりましたが、保護者や地区の方から大きな声援を受けながら学年を超えた仲間と元気にプレーを楽しみました。



練習の成果を発揮しました

広 告

川柳

逝った子に私が代ると嘆く母

四日市場 郷土 山櫻

天の声黒いお金を引き寄せる

四日市場 曳地 真翔

無理のない彩で余世を送りたい

上名生 西村 久子

台風に拍車をかける梅雨最中

船岡 斎藤 八重

会計の時間になると見えぬ奴

船岡 萩原 善助

注文住宅衾の香りに噓せ返り

船岡 鈴木 智子

あの世への道案内を聞く読経

船岡 島貫よし雄

躓いた石が帰りの道しるべ

船岡 小野寺せつ子

短歌

恋しさの念おもひに衣裏返し

枕虫の音鳴き白らむまで

船岡 大槻 信吉

喝采をあびたるやうなり強き風

青田うねらせなたりくる香り

船岡 柄目けい子

せみしぐれびたりと止みし時がくる

今はじっくり声を聞かせてね

船岡 沢田 順子



ご家庭で、ノーテレビ・ノーゲームデー に取り組んでみませんか？

毎月1日または毎週1日など、ご家庭でテレビを見ない日、ゲームをしない日を決めましょう！

柴田町子ども読書活動推進会議（事務局：生涯学習課）では、「ノーテレビ・ノーゲームデー」の推進に取り組んでいます。ご家庭でのご理解とご協力をお願いします。

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター総合成育部長 田澤雄作先生のお話

- テレビなどメディアに「子守り」をさせ、親子が目と目を合わせて会話をする機会が減っています。乳幼児期の言語能力の獲得には「親との直接的な会話や触れ合い」が不可欠です。
- 夜にテレビやゲームなどをしていると、脳が異常な興奮状態となり、たとえ睡眠に入ったとしても脳を休める「ノン・レム睡眠」に至りません。この睡眠障害によって、子どもの脳の慢性疲労が生まれてしまいます。
- テレビやゲームを幼児期から継続的に見続けることで「現実世界」と「非現実世界」の区別がつきにくくなり、未成熟・未発達な「子ども大人」が多くなってきています。

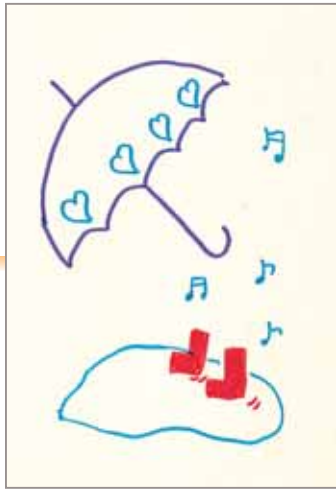


広 告

広 告



夢空間 2009



花ちゃん (ペンネーム)



smile kids

天生目 ^{しゅん} ^ま 春馬ちゃん (1歳5カ月)
^{しおり} 菜ちゃん (4カ月)
(上名生字八幡前)

ひとこと 慌ただしい毎日でも2人の笑顔に癒される。
ずっと仲よし兄弟でいてね。
(父：拓人さん 母：絵里さん)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「レンズで見た
川の中の広場」

柴田小学校4年 ^{りんか}
村上凜夏さん



「うさぎとねこの
たいけつ」

柴田小学校3年 ^{みさと}
平間望里さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2009)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで9月11日(金)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり推進課 ☎55-2278

広 告

ワン・ステップ One Step

まちの図書館づくり Vol.2

平成22年度のオープンを目指し、柴田町初の図書館設置に向けた準備作業がスタートしました。まさしく第一歩(ワンステップ)。準備作業は教育委員会生涯学習課職員のみならず、住民有志のボランティアの皆さまとの協働で準備作業を進めていきます。

このページでは、図書館立ち上げに向けた取り組みを情報発信していきます。



図書館を設置する、しばたの郷土館「ふるさと文化伝承館」

あなたの一冊をぜひ図書館へ 図書寄贈のお願い



しばたの郷土館「ふるさと文化伝承館」内に設置する図書館では、利用度が高いと考えられる図書・雑誌を新規購入していきますが、利用者の方々に、より満足していただける図書館を作り上げるため、皆さまに図書の寄贈をお願いし、蔵書の充実を目指します。皆さまの蔵書の中から一冊でもかまいませんので、ぜひご協力をお願いします。

なお、ご寄贈いただきました図書の取り扱いについては、教育委員会生涯学習課にご一任いただきます。また、発行年の古い図書や汚破損本、マーカーや書き込みのある図書については、活用できませんのでご遠慮申し上げます。

寄贈してほしい図書

- 新刊図書 ○児童書 ○絵本
- ベストセラー本 ○実用書
- 地域資料(町の歴史・文化が記録されている図書)



具体的には
こんな本が公立図書館
では利用が多いんだよ!

- ★人生論 ★ベストセラー小説
- ★絵本 ★乗り物の本
- ★クイズ・なぞなぞ・ゲームなどの本
- ★最新の地誌・旅行案内の本
- ★最新のコンピュータに関する本
- ★最新のパソコンソフトに関する本
- ★最新の通信・インターネットに関する本
- ★日曜大工の本 ★裁縫の本 ★着付けの本
- ★手芸の本 ★料理の本 ★芸術に関する本
- ★住宅インテリアの本 ★スポーツに関する本
- ★手紙・あいさつ・スピーチに関する本
- ★家庭医学・家庭看護・育児に関する本
- ★園芸・ガーデニングに関する本 など



寄贈をご遠慮するもの

- 汚れや破損しているもの
- マーカーや書き込みがあるもの
- 平成12年以前に出版された本
(貴重な図書・入手困難な図書を除く)
- 平成17年以前に出版された百科事典
辞典、図鑑類
- DVDやビデオ等の映像資料
(著作権法により利用不可)

図書の寄贈方法

図書館資料寄贈申込書(町ホームページ参照)に必要事項をご記入の上、持ち込みまたは郵送でご寄贈ください。

◆寄贈受付期間◆

平成21年9月1日から

◆持ち込みの場合◆

教育委員会生涯学習課(役場3階)または槻木・船岡・船迫の各生涯学習センター、しばたの郷土館へご持参ください。

◆郵送の場合◆

〒989-1692 柴田町船岡中央2-3-45

柴田町教育委員会生涯学習課 宛

※着払いでの郵送はお受けできません。

□問合せ先/教育委員会生涯学習課

TEL0224-55-2135 FAX0224-55-2132

Eメール:social-edu@town.shibata.miyagi.jp

ホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp>

人口と 世帯数



38,760 人
(前月比 45 人増)



19,315 人
(前月比 34 人増)



19,445 人
(前月比 11 人増)



14,515 世帯 (平成 21 年 8 月 1 日現在)
(前月比 53 世帯増)